

産学官連携に関する大川キャンパスの取り組み状況

- これまで大川市とは地域の課題に適切に対応するとともに、地域社会が活力ある豊かな社会へと充実・発展するよう連携協力してきたところであるが、連携協力を明文化するものとして平成 27 年 3 月 31 日に大川市との連携に関する協定書を締結。
- 本学部では産学官連携事業の推進強化を図るため、平成 26 年 10 月 21 日に家具と暮らしの委員会を発展的に解消し、産学・医工連携推進室を設置した。
- 主な対外的な活動は以下のとおり
 - H21. 8. 10 大川元気再生事業推進委員会が受託した経済産業省九州産業局委託事業「環境（自立）介護家具コンシェルジュ養成プロジェクト」に参加
(齊場教授が大川元気再生事業推進委員会の学術委員長)
 - H21. 11. 21 大川福祉のまちづくりシンポジウムに参加
(齊場教授がコーディネイター)
 - H22. 2. 20～21 環境（自立）介護家具シンポジウム in 大川に参加
(齊場教授がコーディネイター)
 - H21. 3. 15～22. 3. 20 大川福祉家具協働事業者作成の環境（自立）介護家具のデザイン性及び機能性等についてモニター調査の実施（齊場研究室）
 - H21. 8～22. 3 環境（自立）介護家具コンシェルジュ養成夜間大学の実施とカリキュラム作成に参加
講師 齊場教授 「モデル住宅高齢者体験講座」「基礎講座 1」「基礎講座 2」
 - H22. 2. 25 大川福祉家具研究開発協議会が活動報告書を公表（齊場教授が参加）
 - H22. 3 大川元気再生事業推進委員会が委託事業「環境（自立）介護家具コンシェルジュ養成プロジェクト」報告書を公表（齊場教授が参加）
 - H25. 9. 2 久留米大学と高齢者の身体機能検証について共同研究を実施
研究題目 「ハイブリッドトレーニングシステムを用いた高齢者の身体機能改善効果」
高野吉朗准教授
 - H25. 9. 25 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックスから
「院内感染菌を対象とした菌株間の相同性解析に関する検討」の研究を受託
永沢善三教授
 - H26. 12. 29 株式会社高研と気管切開チューブの発声機能における各種課題の解決をはかるため共同研究を実施
研究題目 「発声機能付き気管切開チューブに関する基礎的研究と製品改良」

梅崎俊郎教授

H27. 8. 28 体具開発研究所から「摂食時の姿勢調整が可能な椅子の嚥下機能に対する効果の検証」の研究を受託

研究代表者 深浦順一教授

H27. 4. 1～H28. 3. 31 三菱レイヨン株式会社横浜研究所とサラセミア（遺伝性貧血）チップの性能評価及び血漿または血清中からのマイクロRNA検出技術の共同研究を実施

研究題目「診断用途チップの開発」

梅村創教授

H28 年度 理学療法学科と久留米大学医学部整形外科との間で「ハイブリッドトレーニングシステムを用いた高齢者の身体機能改善」の研究題目で共同研究契約を締結し、共同研究を行っている。本研究には JAXA や関連するメーカーも参画している。

以上